

JENESYS2024 フォローアップ事業 “日韓次世代会議” オンライン及びオフライン交流の記録

1. 事業概要

【目的】本事業では JENESYS 事業参加経験を有する日韓両国の大学生・社会人等がプログラム参加経験を生かして日韓それぞれの国が抱えている課題等をテーマにディスカッションを行い、オンライン及びオフラインのハイブリッド式で開催された本会議で発表と意見交換をしました。

両国の社会問題に関する意見交換を通じ、今後の日韓間における相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的に実施したものです。

- 【参加者】11月23日 JENESYS 事業に参加経験のある日韓両国の大学生・社会人等
(日本側 20 名、韓国側 9 名)
- 2月15日 JENESYS 事業に参加経験のある日韓両国の大学生・社会人等
(日本側 7 名、韓国側 10 名)

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応(参加者の人数 実績)
11月23日	「2024日韓次世代会議～ネクストジェネレーション・日韓 GenZ 世代の地域活性化トーク」 テーマ関連発表および意見交換	日韓の参加者を Zoom で繋ぎ、日本と韓国に共通する“地域活性化”についての課題を紹介した上で、課題解決に向けた取り組みやどのように魅力を作り出してきたかを共有しました。 日韓の参加者が自国における 3 つの地域活性化事例を紹介し、それぞれの地域が名所やイベント、特産物等を生かしたまちづくりや移住者誘致、街並みの整備によって活性化に取り組んでいることを学びました。質疑応答では地方自治体のゆるキャラや日本の空き家問題について質問が出されるなど、活発に意見交換を行いました。

		(参加者：16名)
2月15日	「2024日韓次世代会議～文化と教育からみる日韓の姿～」 テーマ関連発表および意見交換	日韓の参加者をZoomで繋ぎ、日本と韓国の共通の課題である「教育」と若者の関心事項である「ポップカルチャー」について参加者それぞれが自身の考えを示し、解決・発展方策を考え発表しました。 フィードバックの時間にはお互いの発表内容について積極的に質問するなど、活発な意見交換を行いました。 (参加者：17名)

2. 記録写真

	地域による教育格差 - 子どもの数が多い大都市に教育施設が集まる傾向がある 日本：首都圏に進学率の高い中高一貫校や大手塾が集中 韓国：ソウルに難関大学が集中 - 地方の学生が難関大学へ進学しにくい環境 →地方に根強く残る性差も影響
2024年11月23日 テーマ関連発表の様子	2025年2月15日 テーマ関連発表の様子

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

今回の発表を通じて、韓国と日本が直面している問題と解決策についてさまざまな観点から知ることができた。同じ時代を生き、似たような悩みを共有しているという点でお互いにとって良い同伴者となれるのではないかと感じた。今回の経験をもとに私ができる役割を探していきたいと思います。

◆ 韓国 大学生

今回、日本の大学生と地域活性化というテーマでディスカッションができて良かった。特に日本の大学生のみなさんがとても詳しく調べていて、日本の現在の地域活性化策について知ることができた。

◆ 韓国 大学生

資料を準備し、討論をしながら韓国と日本の共通の問題を発見し、それに対する解決策を模索す

る過程で、両国間の絆を感じることができました。

◆ 日本 大学生

自分自身の関心分野であるポップカルチャー・教育に関して、現状を把握できただけでなく、日韓で共に、問題点やその解決策を考えることができ、非常に意義深い時間となりました。

◆ 韓国 社会人

日韓次世代会議を通じて、韓国と日本の双方の共通点と相違点をよりよく理解することができました。

◆ 日本人 社会人

韓国側の知見が面白かったです。夜間自習はまだ強制だと思っていましたが、強制ではなくなって、逆に塾や予備校などのシステムが強化されたことは初めて知りました。また、大学入試の方式がたくさんあることも知らなかったなので、興味深かったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 日本側運営団体（JENESYS 同窓組織 Japan Korea Alumni Forum）

この度、4回目となる日韓次世代会議を開催することができました。今回韓国側として参加してくださった KJAFB の皆様とは初めての交流であり、大変なこともありましたが、お互いに協力して準備を進めていったことで非常に良い会議になったのではないかと思います。

今回は、「文化と教育から見る日韓の姿」という副題を設定し、日韓共通の話題である「教育問題」と「ポップカルチャー」の2つのテーマについて議論を行いました。両議題とも、両国では若者が大きく関心を持っている内容であったため、教育格差や教員の働き方、誹謗中傷などが議題に上がり、活発な議論が行われました。

昨今の世界情勢は目まぐるしく変化していますが、国と国との関係は固い絆で維持されていくべきだと思います。日本と韓国においてもそのような関係が続くように、これからも私たちは日韓の架け橋として活動していきたいと思います。

◆ 韓国側運営団体（JENESYS 同窓組織 Korea Japan Alumni Forum BUSAN）

釜山地域の同窓会組織は、2024年に新たに発足しました。初めての次世代会議ということで、至らない点も多々ありましたが、JKAF側とのコミュニケーションと協力により、無事に終えることができました。

次世代会議の目的が日韓両国の相互理解と信頼関係の増進であることは、次世代会議を準備していく過程でも十分に感じることができました。

会議を通して、日韓両国が抱えている問題点、共通点、相違点など、お互いを理解することができました、お互いを理解することができた分、少し距離が縮まったのではないのでしょうか。

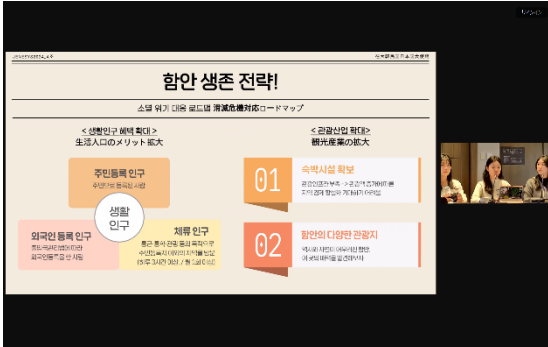
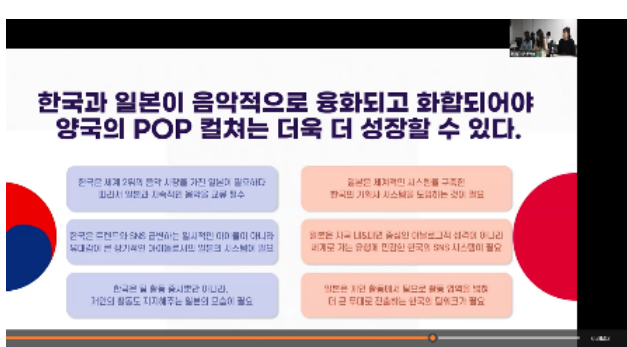
今後、このようなコミュニケーションの場が継続的に維持されるよう、積極的に活動に参加・広報する予定であり、最終的に日韓友好に貢献できるよう、日韓の架け橋として最善を尽くしていきたいと思

ます。

5. 参加者の対外発信、報道記事等

	
2024 年 12 月 2 日 (Naver Blog) 今回の日韓次世代会議は夏に訪問した石巻専修大学の庄子教授の進行のもと「日韓両国の地域活性化」についてさまざまな意見交換をしました。日韓それぞれの地域活性化案と各地域の現在の地域活性化案を聞くことで、さまざまな意見を知ることができるととても良い時間となりました。	2025 年 2 月 15 日 (Instagram) 2 月 15 日(土)に 4 回目となる日韓次世代会議を開催しました。今回は「文化と教育から見る日韓の姿」をテーマに JKAF (JENESYS 同窓組織 Japan Korea Alumni Forum) と KJAFB (JENESYS 同窓組織 Korea Japan Alumni Forum BUSAN) が「教育問題」と「ポップカルチャー」について意見交換、質疑を行いました。

6. 本会議での発表内容（抜粋）

	
---	--

・11 月 23 日に実施した「2024 日韓次世代会議～ネクストジェネレーション・日韓 GenZ 世代の地域活性化トーク」では、韓国側は「江原特別自治道江陵市」「京畿道漣川郡」「慶尚南道咸安郡」の地域活性化事例を、日本側は「北海道東川町」「島根県出雲市」「滋賀県長浜町」の事例を発表し、日韓の地域の様々な取り組みを共有することができました。特産物やおまつり等、地域の魅力を多角的な視点でとらえることにより多くのことを学び、自分の住んでいる町に無関心であっても無関係ではいることはできないことがわかりました。このような交流を通じて地域活性化にもっと関心を持っていくことができればと確認しました。

・2月15日に実施した「2024 日韓次世代会議～文化と教育からみる日韓の姿～」では、韓国側は「韓国の夜間自由学習の自由化による私教育依存問題の増加」「ポップカルチャー」、日本側は「収入と地域による教育格差を是正するには?」「ポップカルチャー」をテーマに問題点と解決策を発表しました。

韓国側の発表

●教育：夜間自由学習の自由化により、私教育の費用の増加、地域格差、公教育の役割の弱化、学生の学習への負担の増加が挙げられた。 解決策として、教育の質の改善、大学入試制度改革、社会的認識の変化（成功の基準の多様化）などが示されました。

●ポップカルチャー：韓国と日本のポップカルチャーの特徴を示し、韓国と日本が音楽的に融和し、調和すれば、両国のポップカルチャーはより成長し、ポップカルチャーを通じた交流がさらに日韓関係の改善にも繋がる旨の発表がありました。

日本側の発表

●教育：収入と地域による教育格差を是正するためには?というテーマで、入試制度による格差、収入差による教育格差、地域による教育格差、教員不足による教育格差などの例を挙げ、解決策として政府や自治体による教育費の補助や無償化、ICT教育の活用、教育CSRの推進などが示されました。

●ポップカルチャー：問題定義として「自国のポップカルチャーへの関心の低さ」と「誹謗中傷」が挙げられ、解決策として韓国で人気の日本のポップカルチャーを逆輸入し、その魅力を日本人が発見するフェスの開催を提案し、さらに#をつかった誹謗中傷反対運動、メディアリテラシーの教育と啓発活動、相談できる環境づくりなどが示されました。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金